

<香川県内の経済動向> (2019年8月作成分)

現在の景気：緩やかな回復基調が続いている。

3か月程度の見通し：緩やかな回復へ向けた動きが続くと考えられる。

個人消費：着実に持ち直している。

- ◆ 6月の百貨店・スーパー販売（速報値）は、前年比+2.7%と2か月連続で増加。店調後は前年比+0.5%と12か月ぶりに増加。
- ◆ 6月のコンビニエンスストア販売(速報値)は、前年比+1.3%と8か月連続で増加。
- ◆ 6月の専門量販店販売（速報値）は、家電大型専門店が前年比（店調前）+6.1%と2か月連続で増加、ドラッグストアが同+11.1%と51か月連続で増加、ホームセンターが同▲2.7%と2か月ぶりに減少し、全体では同+6.1%と2か月連続で増加。
- ◆ 6月の乗用車新車販売は、軽乗用車で前年比+6.3%となったものの、普通乗用車で同▲6.9%、小型乗用車で同▲6.7%と減少し、全体では前年比▲1.2%と3か月ぶりに減少。

住宅建築：横ばいで推移している。

- ◆ 6月の住宅着工戸数は、分譲住宅で前年比▲42.6%となったが、持家で同+60.2%、貸家で同+65.8%となり、全体では前年比+37.9%と2か月ぶりに増加。

設備投資：高水準となっている。

- ◆ 「全国企業短期経済観測調査結果（2019年6月）-香川県-」をみると、2019年度のソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資）は、製造業で前年度比+1.2%、非製造業で同+75.6%、全産業では同22.0%増加の見込み。

公共工事：下げ止まっている。

- ◆ 6月の公共工事請負額は、県で前年比▲21.5%となったものの、国・独立行政法人等で同+219.2%、市町で同+46.6%となり、全体では同+30.8%と3か月ぶりに増加。
- ◆ 4～6月の年度累計では前年比16.7%減少。

輸出：減少している。

- ◆ 6月の県内通関輸出額は、主要品目である船舶が前年比▲39.1%となったことから、全体では前年比▲29.1%と3か月ぶりに減少。
- ◆ 1～6月の累計では前年比20.0%減少。

生産活動：振れを伴いつつも緩やかに持ち直している。

- ◆ 5月の鉱工業生産指数（季調済）は、前月比7.5%増加し、105.1と2カ月ぶりに上昇。
- ◆ 非鉄金属工業（電気金）、輸送機械工業（鋼船）などで上昇。
- ◆ パルプ・紙・紙加工品工業（乳幼児用紙おむつ）、電気機械工業（発光ダイオード）などで低下。

観光：好調に推移。

- ◆ 6月の主要観光地（ニューレオマワールド含む）の入込客数は、前年比+12.4%と3カ月連続で増加。
- ◆ 1～6月の累計では前年比12.0%増加。

雇用情勢：好調に推移。

- ◆ 6月の有効求人倍率（季調済）は、前月比0.01ポイント低下の1.83倍。
- ◆ 新規求人数（原数値）は、建設業、製造業等で増加し、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業（他に分類されないもの）等で減少となり、全体で前年比0.01%減と7カ月連続で減少。